

〔報告〕 展示公開施設の館内環境調査報告 —平成22年度—

吉田 直人・林 美木子・佐野 千絵・石崎 武志

1. はじめに

保存修復科学センターでは、博物館・美術館などの文化財公開施設において、借用などの移動を伴う文化財などの展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術学芸課と協力して行っている。その調査については以前述べたが¹⁾、平成5年度からは各館ごとに、その規模や施工時期などについて、予め定まったフォーマットに従って整理している。平成5年度～21年度についてはすでに報告したので^{2,3)}、ここでは平成22年度に行った館内環境調査に関して概括する。

2. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。昨年同様、博物館・美術館の新設件数は少なくなった。相談件数は昨年とほぼ同じ550件であった。相談館の地域分布は、関東、中部、近畿地方の公開施設が多かった(図2)。

3. 平成22年度館内環境調査報告書提出館29ヵ所の傾向

集計方法などは既報と同じである。相談件数およびその経時変化、相談館の地域分布、開催時期、借用計画をたてた時期、コンクリート打設完了から開館までの期間について図示する(図1～6)。また、平成22年度に報告書を書いた29館(このうち1館については、22年度中に2回報告書を作成)の基礎データを表1に記す。

借用時期は、開館後5年以上経過した館は全体の半数を占め、開館から間もない時期の借用はそれほど多くなかった。(図3)。竣工から開館までの期間は、1年以内の館が約7割であった(図4)。開館時期については、例年は4月が多いが、平成22年度も4月、それに10月が多かった。(図5)。コンクリートの打設完了時期から開館までの期間は短くなる傾向があるが、今回

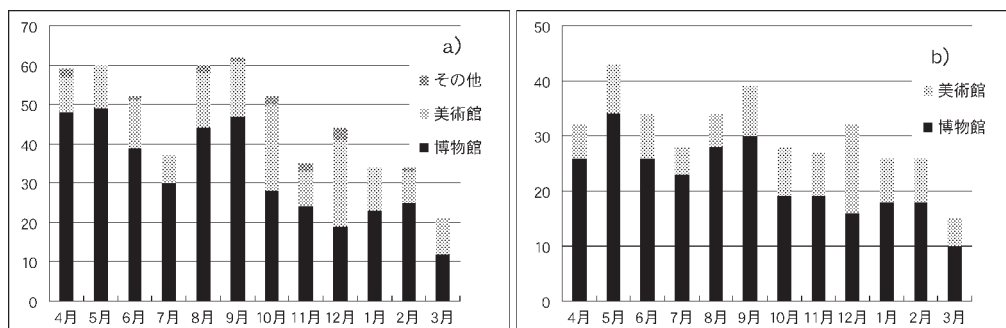


図1 保存環境に関する相談件数(平成22年度)

a) 相談件数 b) 相談館数

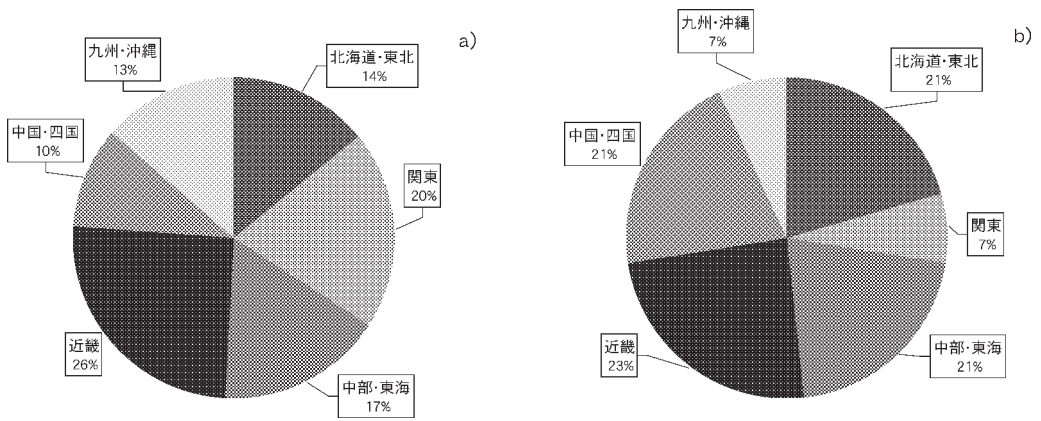


図2 相談館の地域分布 (平成22年度)
 a) 相談館全体の地域分布
 b) 平成22年度館内環境調査報告書提出館29館の地域分布

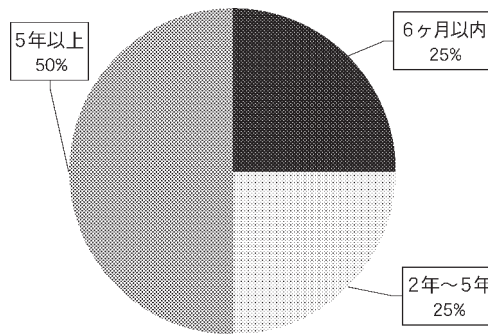


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

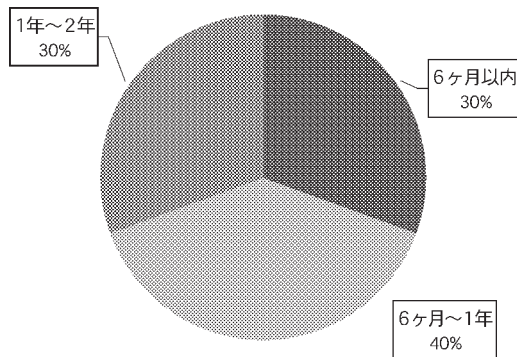


図4 竣工から開館までの期間

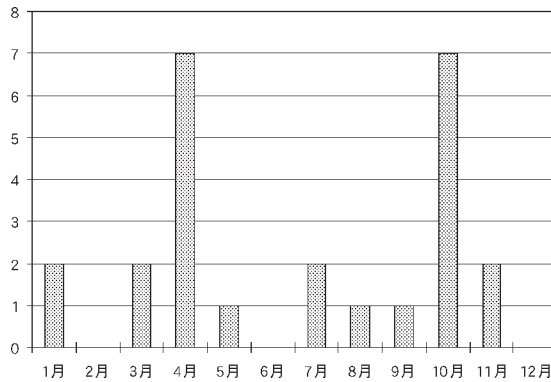


図5 平成22年度館内環境調査報告書提出館の開館月

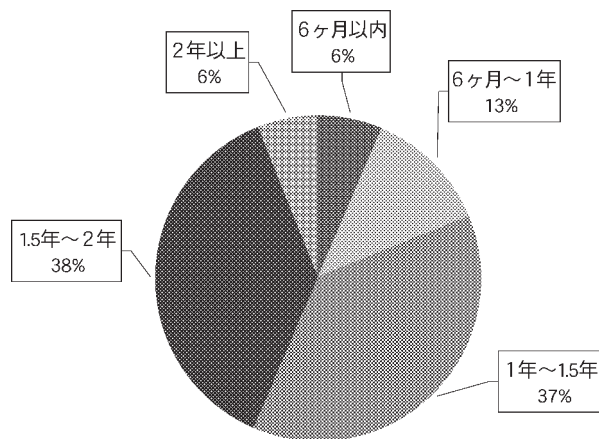


図6 コンクリート打設完了から開館までの期間

の調査では1年半以内の館が半数強であった(図6)。

4. 考察

平成22年度は、環境調査報告書提出館のうち、開館後長く経過したものが多数であった。一方、開館(改装も含め)後間もない借用も決して少なくない。竣工から開館までの期間も短くなる傾向がある。展示室、収蔵庫内の酸、アルカリ環境は2夏を経ないと中性にならない場合が多いので、十分かつ適切に空気環境をチェックする必要がある。

5. さいごに

福島第一原子力発電所事故をきっかけにした電力危機は、全国のあらゆる施設に対して大幅な節電が求められる事態を引き起こした。当然、文化財保存施設も例外ではなく、環境維持に不安を感じる担当者は多いはずである。ただ、それ以前から地球温暖化への懸念から、日本のみならず全世界的に省エネルギーが唱え続けられており、東京文化財研究所ではそのような時代に対応した環境管理の在り方を研究し続けている。このような研究は、現場からの声が推進力になるので、不安や要望があれば遠慮することなくお知らせいただきたいと切望するものである。

表1 調査館の基礎データ

No.	着工	コンクリート打設完了	竣工	開館	借期間	延面積(m ²)	展示面積(m ²)	収蔵面積(m ²)	博・美	運営団体
1	1988.10		1990.3.31	1991.5.3	2010.7.31-8.31	1063	904	269	博	運営団体
	2009.11(改修着工)		2010.3(改修竣工)	2010.4.10(改修開館)						
2	2009.8.3(改修着工)		2010.2.15(改修竣工)	1971.11.1	所蔵品収蔵	11364	3712	1417	博	県
				2010.2.16(改修開館)						
3	2007.1	2008.7	2009.3	2010.3.14	2010.7-9	8000	850		博	市
4	1999.1	2000.9	2001.9	2002.4	2010.7.24-9.5	7741	2589	1030	美	市
5			2005.1	2005.10.6	2010.7.10-8.30	1316	360		博	町
6	2009.1	2009.8	2010.3	2011.7.10	所蔵品収蔵	4593	758	635	博	市
7	1999秋	2000.6	2001.7.31	2001.9	2010.6.15-7.30	9000			博	市
8	1985.11.25		1988.8.30	1988.8.30	2010.6.18-8.19	1399	495	158	博	宗教法人
9	2009.7.24		2010.3.19	2010.7	所蔵品展示	7360	875		博	県
10	1998.11.23	1999.7.15	1999.12.20	2000.11.18	2010.7-8	2153	433	295	博	市
11	2008.7		2009.5	2010.4.29	2010.7-9	2700	420	480	博	市
12	2009.3.13	2010.1	2010.3.13	2010.5.24	所蔵品展示	1370	56	22	博	市
13	2000.1	2001.3	2001.9	2003.1	2010.9.27-12.10	3076	291	329	博	学校法人
14	2002.11.18	2003.12.19	2004.5.31	2005.10.15	2010.10-12	8760	2764	1474	博	県
15	2000.9.28		2002.4.4	2002.10.20	2010.9-12	2396			美	市
16	2004.4	2005.6	2006.2	2007.3	2010.4-2011.3	5700	700	820	博	県
					2010.10-11					
17	2010.2.1(改修着工)		2010.3.31(改修竣工)	2010.10.1	2010.9.30-10.16	426	242	184	博	財団法人
18	1983.11.21		1984.8.30	1985.11	2010.10-11		453	205	博	市
19			1960	2010.10(改修開館)	所蔵品展示	2324	516	175	博	財団法人
20	1992.11.11	1993.10.8	1994.3.20	1995.1	2010.10.2-12.11	3014	1005	173	博	町
		2009.3	2010.3	2010.10.1	2010.12.11-2011.1.10	3400	1200	140	美	市
21					2010.10.6-2010.12.5	2401	306	168	博	市
22	2001.8		2002.9.30	2003.4.1	2010.10.15-2010.11.3	976			美	市
23	1996.11.23	1997.4	1997.7.31	1998.4.1	2010.11.21-2011.1.16	9438	530	1450	博	県
24	2008.1	2008.10.20	2009.3.31	2010	2011.7-2011.3.15	2372	238	277	美	財団法人
25	2008.2.25		2009.3.31	2009.9.15	2011.1.2-2011.2.14	12498	2002		美	県
26	1996.10	1997.8	1998.6	1999.11	2011.4.4-2011.7.10	8370	1400	1150	博	県
27	2005.11.1	2006.8.31	2007.3.31	2007.10	2011.3.19-2011.5.27	4107	3906	1986	博	県
28	1968.11.30	1970.3.31	1971.3.31	1971.4.15	2011.3.1-2011.5.29	10833	3136		博	市
29	2009.9.3(改修着工)		2010.2.28(改修竣工)	2010.4.20(改修開館)						

参考文献

- 1) 三浦定俊, 佐野千絵, 石川陸郎: 新設博物館・美術館における保存環境調査の実際, 月刊文化財 (平成5年4月号), 355, 34-42 (1993)
- 2) 佐野千絵, 三浦定俊: 国指定文化財公開施設のシーズニングについて—平成5年度展示施設の館内環境調査から—, 月刊文化財 (平成7年9月号), 384, 4-11 (1995)
- 3) 保存科学35号 (1996) 以降, 毎号に掲載

キーワード: 博物館 (museum); 館内環境 (indoor environmental condition); 空気環境 (indoor air pollution); 温湿度 (temperature and relative humidity)

Annual Report on the Inspection of Museum Environment in 2010

Naoto YOSHIDA, Mikiko HAYASHI, Chie SANO and Takeshi ISHIZAKI

The National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, in collaboration with the Agency for Cultural Affairs (Bunkacho) advises museums on how they should design their facilities to provide adequate environment for the exhibition of nationally designated cultural objects. This report shows some statistical data of museums inspected in 2010.

The number of advice given was 550. Results of inspection were reported to 29 museums for their exhibition.